

地区名	項目番号	項目	事業の内容 (地域審議会からの意見等)	担当部局	担当課	前回までの対応	担当課
国分寺地区	1	国分寺町文化施設(生涯学習センター)の整備	<p>○ 建設のための実施設計に向けた取組み 国分寺地区の住民の大半は、合併協議における、文化施設の整備について、建設計画の、「……文化施設の整備を図る」を「文化施設の新築整備を図る」と考えております。それは、合併時の町の施設整備準備状況(用地取得・基金積立・進入路整備)を見ますと、当然の結果だと思えます。</p> <p>それに比べ、現在までの市の対応を見ますと、建設計画の解釈に、かなり、開きがあるように思います。そのため、実施設計に向けての協議に、なかなか、踏み込めない状態が続いているように思います。</p> <p>また、前回の審議会における大西市長のあいさつの中で、市長は、建設計画を忠実に尊重しながら実行すると述べるとともに、また、状況の変化に対応した柔軟な対応も必要であるとの発言もありました。</p> <p>しかし、文化施設整備は、国分寺地区にとっては、建設計画における最重要課題であるという位置付けから、忠実に尊重しながら実行していただく案件(新築整備)であり、建物の内容・用途などには、計画変更の要素を含んでいるものの、状況の変化に対応した柔軟な対応(新築以外の整備)には該当しないと考えます。</p> <p>このようなことから、今期間(20年度～22年度)は、実施設計に向けての協議期間と考えておりますので、建設計画の確実な実行を要望するものです。</p> <p>なお、実施設計の段階においては、地元市民の声も聞きながら、また、子育て支援・男女共同参画の活動の場、各種団体の活動の場になるという点も考慮していただき、国分寺地区を含む高松市西部地域の文化活動の拠点となるような施設を検討していただきたい。</p> <p>また、順次、開催している、高松市文化施設整備連絡会の会議内容については、整備計画の進捗状況を把握するために、重要であると考えておりますので、今後、速やかな公表に努めていただきたい。</p>	市民政策部	国際文化振興課	建設計画に記載されている国分寺地域の拠点となるコミュニティセンター機能も備えた文化施設について、平成19年度に庁内関係課で組織する「高松市文化施設整備連絡会」でその方向性を検討中であり、今後、既存施設の有効活用を含めた具体的な施設の規模・機能について検討していきたいと考えています。	国際文化振興課
国分寺地区	3	JR端岡駅周辺整備事業	<p>○ 事業の早期着工 JR端岡駅周辺整備事業については、旧国分寺町時代の経緯もあり、大変、難しい事業であると考えており、時間的にも長期間に渡るということは、当然、理解しております。</p> <p>しかし、今のままでは、慢性的な交通渋滞を解消することはできません。</p> <p>このようなことから、今後、利用者が増加することが予測されること、また、国分寺地区の公共交通機関の拠点・高松市の西の玄関になるという観点などを考慮し、現在、作成中の都市計画マスタープランの中で、これらの要素を勘案した上で、事業の方向性をまとめ、整備事業計画の作成に取りかかっていたいただきたい。</p>	都市整備部	都市計画課	建設計画や新総合計画等を踏まえ、現在、平成20年末を目途に都市計画マスタープランの見直しを進めています。昨年度は、国分寺地区など合併町を対象に、将来の土地利用や都市施設等の整備方針など、地域別構想について検討を行ったところであり、本年度に実施しております、市全体の土地利用や交通体系の方針など、全体構想との整合性を図る中で、JR端岡駅周辺地区の方向性についても、引き続き、検討します。	都市計画課

地区名：国分寺

今後の対応

平成20年度は、国分寺地区における、高松市西部地域の文化活動の拠点となる施設を整備するために、学識経験者や公募市民等による「国分寺地区文化施設整備検討委員会」を設置し、全市的な視野に立って、施設の機能や規模等を検討します。

この検討委員会のほか、市議会や地域審議会などで、幅広く意見を聴取し、整備内容等を取りまとめることとしています。

J R 端岡駅の周辺整備につきましては、新総合計画を踏まえ、現在、策定中の都市計画マスタープランにおいて、整備の方向性を位置づけることとしています。

今後の施設整備に向けた考えとスケジュールでございますが、同駅へ安全・快適に移動できるよう、アクセス道路や、駅南側における駅前広場などについて、平成21年度に予定している道路等の実施設計の中で、地元関係者やJ R 四国等関係機関と協議・調整を図りながら、スケジュールも含め、整備内容を検討してまいりたいと存じます。